③　内標準法

内標準元素の一定量に対して標準被検元素を段階的に加えた標準液を数種類調製する。それぞれの液につき、各元素の分析線波長で標準被検元素による強度及び内標準元素による強度を同一条件で測定し、標準被検元素による強度と内標準元素による強度の比を求める。横軸に標準被検元素量（濃度）、縦軸に強度の比をとり、検量線を作成する。次に、標準液の場合と同量の内標準元素を加えた検液を調製し、検量線を作成したときと同一条件で得た被検元素による強度と内標準元素による強度の比を求め、検量線から被検元素量（濃度）を求める。なお、本法の適用に当たっては、添加する内標準元素が検液中に含まれないこと、又は含まれていたとしても添加濃度に対して無視できる程度であることを確認しておく必要がある。また、内標準元素としては、測定対象元素と、スペクトル干渉を起こさず、同程度のイオン化効率及び質量数を有する元素が望ましい。

注意

①　アルゴンガスは、液化アルゴン又は圧縮アルゴンのいずれを用いても良いが、純度99.99vol%以上のものを用いる。

②　標準液の液性は検液と合わせることが望ましい。

③　複数元素を含む標準液を調製する場合は、沈殿及び互いに干渉を生じないような試液並びに元素の組合せを選択する。

⑶7～⑶9　（略）

7　飼料添加物一般の試験法並びに各飼料添加物の成分規格及び製造方法等の基準に用いる標準品、試薬・試液、容量分析用標準液、標準液、色の比較液、計量器・用器、ろ紙、滅菌法及びベルトラン糖類定量表の規定

⑴　（略）

⑵　試薬・試液

（略）

亜鉛（標準試薬）～エタノール　（略）

エタノール（99.5）　エタノール、無水の項に定める。

エタノール、希～0.01mol／Ｌ塩酸・メタノール試液　（略）

塩酸、誘導結合プラズマ分析用　HCl〔微量金属分析用、35.0～37.0%〕

塩酸リジン～硝酸　（略）

硝酸・塩酸試液、誘導結合プラズマ分析用　誘導結合プラズマ分析用硝酸18mL及び誘導結合プラズマ分析用塩酸２mLを量り、500mLの全量フラスコに入れ、誘導結合プラズマ分析用水を標線まで加え、蓋をし、よく振り混ぜる。

硝酸、希～硝酸マグネシウム試液　（略）

硝酸、誘導結合プラズマ分析用　HNO_3〔微量金属測定用、69～70%〕

食塩～p―ニトロアニリン　（略）

３―ニトロオキシプロパノール

含量　98.0%以上

⑶6～⑶8　（略）

7　飼料添加物一般の試験法並びに各飼料添加物の成分規格及び製造方法等の基準に用いる標準品、試薬・試液、容量分析用標準液、標準液、色の比較液、計量器・用器、ろ紙、滅菌法及びベルトラン糖類定量表の規定

⑴　（略）

⑵　試薬・試液

（略）

亜鉛（標準試薬）～エタノール　（略）

（新設）

エタノール、希～0.01mol／Ｌ塩酸・メタノール試液　（略）

（新設）

塩酸リジン～硝酸　（略）

（新設）

硝酸、希～硝酸マグネシウム試液　（略）

（新設）

食塩～p―ニトロアニリン　（略）

（新設）